

1. 科目名 ( 単位数 )	障害児保育演習 ( 2 単位 )	3. 科目番号	SJMP6332
2. 授業担当教員	上田 征三		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	障害児保育特論を履修していることが望ましい		
7. 講義概要	本講義では、保育や療育の現場において、障害のある乳幼児から学齢期の子どもの個々のニーズに応じた様々な支援プログラムについて実践的内容を中心に演習する。さらに、障害のある子ども自身はもとより、家族、周辺職種、障害者に関連する理念や制度について、医療・福祉・心理・保育・教育にまたがる幅広い視点から学び、共生社会の形成に向けた考え方の基礎を培うとともに、臨床実践における総合的能力の獲得を目指す。		
8. 学習目標	① 障害のある子どものニーズを把握し、個に応じた実践を実現する力を養う。 ② 幼児を中心とした事例を通して、個に応じたアプローチのみならず、家族支援、他職種との協働を含めた包括的支援のイメージができる。 ③ 海外の論文を抄読しながら、専門用語を学び、国際的な理念や研究の動向について知識を得る。		
9. アサイメント ( 宿題 ) 及びレポート課題	・ 障害児に関する療育技法のうち複数を選択し、簡潔にまとめてレポートしてください。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 小林保子、立松英子『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ(改訂第2版)』学術出版会、2017年 <b>【参考書】</b> 上田征三編著『実践研究や事例から学ぶ社会的養護II』大学図書出版、2018年 石部元雄・上田征三・高橋実・柳本雄次編著『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房、2020年 日本発達障害福祉連盟『発達障害白書(2024年版)』明石書店、2023年 内閣府『令和6年版 障害者白書』 <a href="https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h30hakusho/zenbun/index-w.html">https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h30hakusho/zenbun/index-w.html</a> 障害者の権利に関する条約 日本政府公定訳 <a href="http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/rights/adhoc8/convention131015.html">http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/rights/adhoc8/convention131015.html</a> * その他授業で文献やDVD、ウェブサイトを紹介いたします。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 広い視野をもって、障害児保育を捉えてください。課題に対するモチベーションの高さを評価します。 ○評定の方法 授業参加態度 30% 演習での発表・問題提起・発言等 30% 課題(発表・レポート) 40%		
12. 受講生へのメッセージ	・ 各自の研究と関連付けながら、積極的かつ主体的に取り組むこと。 ・ 障害がある子どもやその家族を理解し、支援方法を学ぶ上では、日常的なかかわりや、地域における障害者支援環境を理解していることが重要となる。日ごろから、ボランティア活動や療育・教育活動に積極的に参加することを勧める。 ・ 研究科の学生として、節度ある態度で講義に臨むこと。		
13. オフィスアワー	別途通知する		
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】		
1. テーマ	自己紹介と研究課題の紹介・本講義の方向性の確認		
	<b>【学習の目標】</b> 各自の研究課題を紹介し、本講義との関連性について明らかにすること。 <b>【学習の内容】</b> 学生の研究課題と本講義の方向性について確認する。 <b>【キーワード】</b> 研究課題 講義との関連性 <b>【学習の課題】</b> 自らの研究課題を簡単にわかりやすく説明できるように、A4 1枚のレポートを作成すること。 <b>【学習する上での留意点】</b> 学生と教員の相互理解を図ることの重要性から、自らの研究課題を端的に説明できるよう、資料を準備して臨むこと。		
2. テーマ	児童を取り巻く現状と課題 第1章 1 障害とは 2 障害の種類		
	<b>【学習の目標】</b> 本講義の基礎となる障害児保育の現状と課題について理解する。 <b>【学習の内容】</b> 現代社会の諸問題と特別なニーズのある子どもの関係について学ぶ。 <b>【キーワード】</b> 虐待 不登校 いじめ 気になる子 子ども・若者白書 <b>【学習の課題】</b> 自分自身の現在の障害観を明らかにしておくこと。 <b>【参考文献】</b> 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『実践研究や事例から学ぶ社会的養護II』大学図書出版 <b>【学習する上での留意点】</b> 様々な視点から、問題をとらえられるようにすること。		
3. テーマ	障害児保育の現状と課題(1) 第1章 3 ICIDHからICFへ 4 障害児保育		
	<b>【学習の目標】</b> 発達支援と人権との関係を考察し、現代の日本が向かっている障害者施策の方向性について知識をもつ。 <b>【学習の内容】</b> 障害者の権利に関する条約や障害者基本法、保育所保育指針等から障害のある子どもの保育や教育の基本的考え方		

	<p>を取り出し、それらのつながりを系統的に見て行く。 事例にもとづいて学習する。</p> <p>【キーワード】 インクルーシブ保育、基本的人権、自立と社会参加、共生社会、合理的配慮</p> <p>【学習の課題】 上記キーワードについて、インターネットなどを活用して調べておくこと。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『実践研究や事例から学ぶ社会的養護II』大学図書出版、『障害者の権利に関する条約』『保育所保育指針解説書』</p> <p>【学習する上での留意点】 保護者の視点に立って考えていくこと。</p>
4. テーマ	<p>障害児保育の現状と課題(2) 第2章 1福祉の制度 2医療の制度</p> <p>【学習の目標】 発達支援と人権との関係を考察し、現代の日本が向かっている障害者施策の方向性について知識をもつ。</p> <p>【学習の内容】 障害者の権利に関する条約や障害者基本法、『幼稚園教育要領解説(平成30年3月)』等から障害のある子どもの保育や教育の基本的考え方を取り出し、それらのつながりを系統的に見て行く。</p> <p>【キーワード】 発達過程 発達指標 アセスメント 行動調整</p> <p>【学習の課題】 療育技法の1つを取り上げ、詳しく調べてレポートし、授業で解説すること。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『実践研究や事例から学ぶ社会的養護II』大学図書出版、『幼稚園教育要領解説(平成30年2月)』</p> <p>【学習する上での留意点】 幼児教育ではどのようなことが問題になっているか、関心をもって資料を集めること。</p>
5. テーマ	<p>障害児保育におけるアセスメントと発達支援(1) 第3章(発達)</p> <p>【学習の目標】 子ども理解における発達の把握とアセスメントの理解ができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 個人差や発達過程に応じた保育の概要を知る。</p> <p>【キーワード】 発達過程 発達指標 アセスメント 行動調整</p> <p>【学習の課題】 療育技法の1つを取り上げ、詳しく調べてレポートし、授業で解説すること。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房 その他の論文資料等を授業で紹介します。</p> <p>【学習する上での留意点】 アセスメントの目的とその活用を理解すること。</p>
6. テーマ	<p>障害児保育におけるアセスメントと発達支援(2) 第3章(家庭への支援)</p> <p>【学習の目標】 発達アセスメントを通して子どもの発達支援の環境設定ができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 アセスメントの実際について学び、WISC-IVの検査活用について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 発達検査、WISC-IV 知能検査、言語理解、知覚推理、ワーキングメモリー、処理速度</p> <p>【学習の課題】 それぞれの発達段階を示す発達指標について調べてくる。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房 その他の論文資料等を授業で紹介します。</p> <p>【学習する上での留意点】 アセスメントの目的とその活用を理解すること。</p>
7. テーマ	<p>障害児保育におけるアセスメントと発達支援(3) 第5章(療育に実際) 第6章(専門機関)</p> <p>【学習の目標】 発達アセスメントを通して子どもの発達支援の環境設定ができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 アセスメントの実際について学び、KABC-IIの検査活用について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 発達検査、KABC-II 心理・教育アセスメントバッテリー、継次処理、同時処理</p> <p>【学習の課題】 それぞれの発達段階を示す発達指標について調べてくる。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房 その他の論文資料等を授業で紹介します。</p> <p>【学習する上での留意点】 アセスメントの目的とその活用を理解すること。</p>
8. テーマ	<p>保育における特別な支援(1) 第7章(特別支援教育) ①視覚障害</p> <p>【学習の目標】 視覚障害がある子の早期療育について考える。</p> <p>【学習の内容】 事例を通して、子どもがどのようにして生きる力を身につけるかを考える。</p> <p>【キーワード】 視覚障害、盲、弱視、自立支援、合理的配慮</p> <p>【学習の課題】 視覚障害の具体的事例が理解できるように視覚の生理・病理・心理について調べてくる。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房 その他の論文資料等を授業で紹介します。</p> <p>【学習する上での留意点】 乳幼児期だけでなく将来に向けた望ましい支援について考える視点を持つこと。</p>
9. テーマ	<p>保育における特別な支援(2) 第8章(療育実践) 第9章(知的障害) ②聴覚障害</p> <p>【学習の目標】 聴覚障害がある子の早期療育について考える。</p> <p>【学習の内容】 事例を通して、子どもがどのようにして生きる力を身につけるかを考える。</p> <p>【キーワード】 聴覚障害、ろう(聾)、難聴、手話言語、自立支援、合理的配慮</p> <p>【学習の課題】 聴覚障害の具体的事例が理解できるように聴覚の生理・病理・心理について調べてくる。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房 その他の論文資料等を授業で紹介します。</p>

【学習する上での留意点】乳幼児期だけでなく将来に向けた望ましい支援について考える視点を持つこと。	
10. テー マ	保育における特別な支援(3) 第10章(肢体不自由児) ③肢体不自由
<p>【学習の目標】 肢体不自由がある子の早期療育について考える。</p> <p>【学習の内容】 事例を通して、子どもがどのようにして生きる力を身につけるかを考える。</p> <p>【キーワード】 肢体不自由、脳性疾患、脳性まひ、自立支援、合理的配慮</p> <p>【学習の課題】 肢体不自由の具体的事例が理解できるように肢体不自由の生理・病理・心理について調べてくる。またその他の障害についても理解する。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房 その他の論文資料等を授業で紹介します。</p> <p>【学習する上での留意点】 乳幼児期だけでなく将来に向けた望ましい支援について考える視点を持つこと。</p>	
11. テー マ	保育における特別な支援(4) 第9章 ④知的障害
<p>【学習の目標】 知的障害がある子の早期療育について考える。</p> <p>【学習の内容】 事例を通して、子どもがどのようにして生きる力を身につけるかを考える。</p> <p>【キーワード】 知的障害、ダウン症、自閉症スペクトラム障害、自立支援、合理的配慮</p> <p>【学習の課題】 知的障害の具体的事例が理解できるように知的障害の生理・病理・心理について調べてくる。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房 その他の論文資料等を授業で紹介します。</p> <p>【学習する上での留意点】 乳幼児期だけでなく将来に向けた望ましい支援について考える視点を持つこと。</p>	
12. テー マ	保育における特別な支援(5) 第11章(自閉症)
<p>【学習の目標】 知的障害や自閉症スペクトラム障害における行動障害における対応の原則を知る。</p> <p>【学習の内容】 英文購読を通して、知的障害や自閉症スペクトラム障害一般に起こりがちな行動障害の種類と実態を学ぶ。</p> <p>【キーワード】 行動障害 睡眠障害 自傷 他害 常同行動</p> <p>【学習の課題】 あらかじめ用意した文献に目を通してくること。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 『よくわかる障害児教育(第4版)』ミネルヴァ書房 その他の論文資料等を授業で紹介します。</p> <p>【学習する上での留意点】 この分野で一般的な用語とその原著、省略語(ASDなど)について関心をもつこと。</p>	
13. テー マ	保育における特別な支援(6) 第12章 重症心身障害
<p>【学習の目標】 重症心身障害児の療育上の課題や医療的ケアについて知る。</p> <p>【学習の内容】 英文購読を通して、知的障害や自閉症一般に起こりがちな行動障害の種類と実態を学ぶ。</p> <p>【キーワード】 重症心身障害 医療的ケア 医療型障害児入所施設(重症心身障害児施設)</p> <p>【学習の課題】 あらかじめ用意した文献に目を通してくること。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会</p> <p>【学習する上での留意点】 この分野で一般的な用語とその原著について関心をもつこと。</p>	
14. テー マ	事例にもとづいて(1) 医療的ケア児(DVD)
<p>【学習の目標】 障害のある子どもにかかわる福祉制度と関連する法律について知る。</p> <p>【学習の内容】 発達障害白書やDVDを参考に、児童養護施設や知的障害成人施設の実態を知る。</p> <p>【キーワード】 ソーシャルワーク ICF 障害者基本法 障害者総合支援法 障害者の権利に関する条約</p> <p>【学習の課題】 虐待や障害者差別などがテーマとなった新聞記事を見つけてきて解説する。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 日本発達障害連盟『発達障害白書 2022年度版』明石書店</p> <p>【学習する上での留意点】 誰にでも起こる身近な問題として考えましょう。保育所で働く以外の保育氏の仕事に目を向けましょう。</p>	
15. テー マ	事例にもとづいて(2) 第13章(教材・教具)
<p>【学習の目標】 提示された事例に基づいて、保育士及び保育所の組織的な対応について幅広い視点から考える。</p> <p>【学習の内容】 事例に基づいて問題の解決と保育の方針をディスカッションする。</p> <p>【キーワード】 ソーシャルワーク 個別の支援計画 自立(自立)支援</p> <p>【学習の課題】 上記キーワードについて、参考書やインターネットなどで予備知識を得て授業に臨むこと。</p> <p>【参考文献】 『保育者のための障害児療育-理論と実践をつなぐ』学術出版会 日本発達障害連盟『発達障害白書 2022年度版』明石書店</p> <p>【学習する上での留意点】 自分の経験に基づいて実際保育士になったつもりで考えること。</p>	